

**横浜駅周辺地区の整備**

横浜駅周辺地区は、2023年に開業する「東横線延伸区間」により、さらなる発展が期待されています。また、周辺地域の再開発も進んでいます。

**・ 横浜駅周辺地区の整備**

横浜駅周辺地区は、2023年に開業する「東横線延伸区間」により、さらなる発展が期待されています。また、周辺地域の再開発も進んでいます。

**・ 横浜駅周辺の取組**

横浜駅周辺地区は、2023年に開業する「東横線延伸区間」により、さらなる発展が期待されています。また、周辺地域の再開発も進んでいます。

**成長からの転換**

横浜市の成長は、人口増加と経済発展によるものです。しかし、成長に伴って課題も生じています。例えば、交通渋滞や環境問題などです。そのため、成長からの転換が必要とされています。

**08 CITY PLANNING**

横浜市の成長は、人口増加と経済発展によるものです。しかし、成長に伴って課題も生じています。例えば、交通渋滞や環境問題などです。そのため、成長からの転換が必要とされています。

**07 CITY PLANNING**

横浜市の成長は、人口増加と経済発展によるものです。しかし、成長に伴って課題も生じています。例えば、交通渋滞や環境問題などです。そのため、成長からの転換が必要とされています。

**06 CITY PLANNING**

横浜市の成長は、人口増加と経済発展によるものです。しかし、成長に伴って課題も生じています。例えば、交通渋滞や環境問題などです。そのため、成長からの転換が必要とされています。

**1956** 戦後復興計画の策定

戦後復興計画は、戦後の横浜市の復興と発展を目的として策定されました。

**1968** 横浜駅周辺地区の整備計画の策定

横浜駅周辺地区の整備計画は、横浜駅周辺の再開発を目的として策定されました。

**1970** 横浜駅周辺地区の整備計画の策定

横浜駅周辺地区の整備計画は、横浜駅周辺の再開発を目的として策定されました。

**1972** 横浜駅周辺地区の整備計画の策定

横浜駅周辺地区の整備計画は、横浜駅周辺の再開発を目的として策定されました。

**1972** 横浜駅周辺地区の整備計画の策定

横浜駅周辺地区の整備計画は、横浜駅周辺の再開発を目的として策定されました。

**1972** 横浜駅周辺地区の整備計画の策定

横浜駅周辺地区の整備計画は、横浜駅周辺の再開発を目的として策定されました。

**1972** 横浜駅周辺地区の整備計画の策定

横浜駅周辺地区の整備計画は、横浜駅周辺の再開発を目的として策定されました。

**06 CITY PLANNING**

横浜市の成長は、人口増加と経済発展によるものです。しかし、成長に伴って課題も生じています。例えば、交通渋滞や環境問題などです。そのため、成長からの転換が必要とされています。

**05 CITY PLANNING**

横浜市の成長は、人口増加と経済発展によるものです。しかし、成長に伴って課題も生じています。例えば、交通渋滞や環境問題などです。そのため、成長からの転換が必要とされています。

**04 CITY PLANNING**

横浜市の成長は、人口増加と経済発展によるものです。しかし、成長に伴って課題も生じています。例えば、交通渋滞や環境問題などです。そのため、成長からの転換が必要とされています。

**03 CITY PLANNING**

横浜市の成長は、人口増加と経済発展によるものです。しかし、成長に伴って課題も生じています。例えば、交通渋滞や環境問題などです。そのため、成長からの転換が必要とされています。

**02 CITY PLANNING**

横浜市の成長は、人口増加と経済発展によるものです。しかし、成長に伴って課題も生じています。例えば、交通渋滞や環境問題などです。そのため、成長からの転換が必要とされています。

**01 CITY PLANNING**

横浜市の成長は、人口増加と経済発展によるものです。しかし、成長に伴って課題も生じています。例えば、交通渋滞や環境問題などです。そのため、成長からの転換が必要とされています。

**01 CITY PLANNING**

横浜市の成長は、人口増加と経済発展によるものです。しかし、成長に伴って課題も生じています。例えば、交通渋滞や環境問題などです。そのため、成長からの転換が必要とされています。

**1946** 特別都市計画決定(横浜復興)

特別都市計画決定は、戦後の横浜市の復興と発展を目的として策定されました。

**1947** 特別都市計画決定(横浜復興)

特別都市計画決定は、戦後の横浜市の復興と発展を目的として策定されました。

**1947** 特別都市計画決定(横浜復興)

特別都市計画決定は、戦後の横浜市の復興と発展を目的として策定されました。

**1947** 特別都市計画決定(横浜復興)

特別都市計画決定は、戦後の横浜市の復興と発展を目的として策定されました。

**1947** 特別都市計画決定(横浜復興)

特別都市計画決定は、戦後の横浜市の復興と発展を目的として策定されました。

**1947** 特別都市計画決定(横浜復興)

特別都市計画決定は、戦後の横浜市の復興と発展を目的として策定されました。

**1947** 特別都市計画決定(横浜復興)

特別都市計画決定は、戦後の横浜市の復興と発展を目的として策定されました。

## 都市計画の概要

**●都市計画の役割**

活かに富んだ魅力あるまちづくりには、市民の方々の協力を得ながら、計画的かつ合理的な土地利用の推進と道路と公園などの都市施設の整備が求められています。

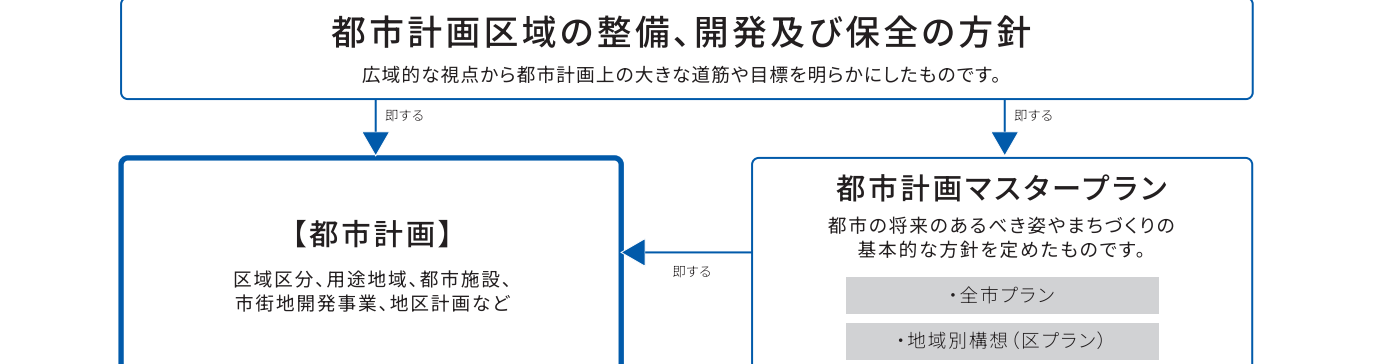
都市計画は、こうしたまちづくりを進めるうえで重要な役割を担っている「市街化区域と市街化調整区域の区分」、「用途地域や高度地区などの地域地区」、「道路や公園などの都市施設」、「土地画整理事業などの市街地開発事業」などを定め、都市の計画的な整備を図るための規制・誘導策であるとともに、都市の将来像を示す役割があります。

都市計画を定める際には、都市計画法に基づく「都市計画区域の整備、開発及び保全の方針」や市町村の都市計画に関する基本的な方針である「横浜市都市計画マスタープラン」などに即して定められています。

## ●主な都市計画の種類

区域区分	都市施設
無秩序な市街化を防止し、計画的な市街化を図るために、都市計画区域を「市街化区域」と「市街化調整区域」に区分することです。「線引き」とも呼ばれています。「市街化区域」は、既に市街地を形成している区域あるいはおおむね10年以上以内に優先的かつ計画的に市街化を図るべき区域です。「市街化調整区域」は、市街化を抑制する区域です。	円滑な都市活動と良好な都市環境を確保するとともに将来の土地利用や交通体系などに対応するため、生活に必要な都市の骨格を形成する施設です。都市施設には道路、都市高速鉄道、公園、河川、学校など14種類の施設を定めることができます。

## ●都市計画の体系



## 都市計画情報の提供

横浜市では、都市計画情報を広く市民に向けて提供しています。

- 行政地図情報提供システム「iマッパー」「Rマッパー」「Cマッパー」**
- iマッパー**：横浜市の都市計画による制限、建築・造成等に関する制限、地域まちづくりの計画等の情報が確認できるシステムです。(基図は地形図)
- Rマッパー**：横浜市の都市計画決定線（都市計画道路の一部）と縮尺約1/500の精度の道路台帳を重ねた閲覧システムです。(基図は道路台帳区域線図・平面図)
- Cマッパー**：横浜市の都市計画決定線（都市計画道路の一部）と縮尺約1/500の精度の法務省登記所備付地図データを重ねた閲覧システムです。(基図は登記所備付地図)

【「iマッパー」で確認できる情報】

都市計画による制限	建築・造成等に関する制限	地域まちづくりの計画等
用途地域、防火地域又は準防火地域、高度地区、敷地面積の最低限度、外壁後退距離、建築物の高さの限度、緑化地域、風防地区、生産緑地地区、地区計画、都市施設(道路、公園、河川等)、都市施設の実事認可状況、市街地開発事業	建築協定区域、建築基準法第22条区域、不燃化推進地域、建築基準法道路種別、宅地造成工事規制区域、壁面緑化の制限、駐車場条例の附属義務区域、日照規制、用途地域の指定のない区域内の建築物の制限	街づくり協議地区等の区域、地域まちづくりプランの区域、大規模土地取引の事前届出地域、景観計画、都市景観協議区域

- 都市計画図書縦覧システム「A-mappy」**
- 都市計画図書(計画書、総括図、計画図)をインターネット上で閲覧できるシステムです。昭和45年以降に都市計画決定又は変更されたものを掲載しており、過去の都市計画情報(用途地域、都市計画施設等)を調査することができます。
- 都市計画図等の販売**
- 都市計画図(カラー)や地形図(白地図)等を市政刊行物・グッズ販売コーナー等で販売しています。

都市計画図	地形図	市域図
横浜市全域版のカラー地図(縮尺1/25,000)。地域地区区分と都市施設図があります。地域地区区分:主に用途地域や防火地域及び準防火地域など都市施設図:主に道路や都市高速鉄道、公園など	横浜市区を189回画に分割した白地図です。(縮尺1/2,500)	横浜市全域版の白地図です。(縮尺1/25,000)

横浜市 都市整備局 企画部 都市計画課

〒231-0005 横浜市中区本町6丁目50番地10 TEL:045-671-2657 FAX:045-550-4913

Email: tb-toshikeikaku@city.yokohama.lg.jp

ホームページ: https://www.city.yokohama.lg.jp/business/bunyabetsu/kenchiku/toshikeikaku/

令和8年4月発行

**● 6大事業**

1955年頃の横浜は東洋最大の都市計画で、1968年の都市計画法改正により、横浜市の都市計画は大きく変革されました。この中で、横浜市の都市計画は大きく変革されました。この中で、横浜市の都市計画は大きく変革されました。

**● 近代都市への展開**

横浜市の近代都市への展開は、人口増加と経済発展によるものです。しかし、成長に伴って課題も生じています。例えば、交通渋滞や環境問題などです。そのため、成長からの転換が必要とされています。



## YOKOHAMA CITY PLANNING

### ●横浜市の概要

東は東京湾に面し、西は大和町、藤沢市及び東京都町田市、北は川崎市、南は鎌倉市、逗子市及び横浜賀市に接しており、神奈川県内の市町村では最も面積が広く、県庁所在地になっています。

市域中央部には丘陵地が南北に縦断しており、丘陵地の東西には平坦な台地が広がっています。また、河川沿いには台地よりさらに狭い段丘が部分的に形成されています。さらに、河川部には谷底低地、沿岸部には海岸低地が分布しており、海岸部では埋立地が造成され、海岸線のほとんどが人工的な地形に改造されています。

1889年に市制が施行されたことで横浜市が誕生し、その後、市域拡張と区制施行、区の新設を経て、現在は18の行政区を持っています。面積は2025年1月時点で438.23㎢、人口は約377万人となり、日本の市区町村の中で人口が最も多い都市となっていますが、2021年をピークに減少傾向が続いています。

### ●市域の変遷

年	市制施行	人口	面積
1889年	明治22年	人口116,193人	面積5,404㎡
1901年	明治34年	第一次市域拡張	面積24,806㎡
1911年	明治44年	第二次市域拡張	面積36,716㎡
1927年	昭和2年	第三次市域拡張	面積133,888㎡
1936年	昭和11年	第四次市域拡張	面積168,024㎡
1937年	昭和12年	第五次市域拡張	面積173,184㎡
1939年	昭和14年	第六次市域拡張	面積400,974㎡
1943年	昭和18年	区新設(南区)	
1944年	昭和19年	区新設(西区)	
1948年	昭和23年	区新設(東区)	
1969年	昭和44年	区新設(南区、西区、東区)	
1969年	昭和44年	区新設(南区、西区、東区)	
1994年	平成6年	区新設(南区、東区)	

